

## 平成28年度 白川・東白川地域公共交通活性化協議会事業報告

## 1. 会議の開催

## (1) 協議会の開催

回・日時・場所	内 容
<b>【第1回】</b> 平成28年 6月24日(金) 午前9時30分～ 白川町町民会館 大研修室	報告事項 (1) 白川・東白川地域公共交通活性化協議会設置規約等について (2) 合同法定協議会設置までの経過説明について (3) 濃飛バス減便に伴う代替バス等の対策状況について 協議事項 (1) 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)について (2) 地域公共交通計画策定支援業務の委託について その他 (1) 白川町の移動制約者の状況について (2) 東白川村の福祉有償運送の状況について (3) 住民代表委員・民生委員がイメージする「これからの公共交通」
<b>【第2回】</b> 平成29年 1月19日(木) 午後3時～ 白川町町民会館 大研修室	報告事項 (1) 公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査について (2) 地域部会等の設置状況について (3) 実証運行の実施状況について 協議事項 (1) 白川・東白川地域公共交通活性化協議会の分科会及び地域部会に関する規程の改正について (2) 新しい公共交通システムの構想について (3) 公共交通の担い手確保対策について

## (2) 幹事会の開催

- ・開催なし

## (3) 分科会及び地域部会の開催

- ・分科会           開催なし
- ・地域部会       【資料3-1】のとおり

## 2. 地域公共交通網形成計画の策定に向けた調査等の事業

## (1) 委託事業       (委託先：名古屋大学大学院環境学研究科)

研究題目	白川町及び東白川村の公共交通に関する研究
研究目的	白川町及び東白川村の公共交通の再構築に向けて、住民アンケート調査等を行い、2町村合同による地域公共交通網形成計画の策定を支援する。
研究内容	白川町・東白川村地域公共交通網形成計画に必要な調査、分析、立案、作成に伴う作業

<住民アンケート調査の内容>

- ・実施時期 平成 28 年 7 月～8 月
- ・対 象 白川町及び東白川村の全世帯（15 歳以上の住民）
- ・回 収 率 85.4%（配付 3,623 世帯、回収 3,094 世帯）
- ・住民アンケート調査の分析結果より（抜粋・とりまとめ）

【資料 4－3】のとおり

### 3. 地域の足の確保

- (1) 路線バス（濃飛バス）の運行
- (2) 路線バス減便に対する代替運行  
白川町 【資料 1】のとおり  
東白川村 【資料 2】のとおり
- (3) 福祉有償運送（東白川村）
- (4) 実証運行による暮らしの足・観光の足の検討（白川町）  
【資料 3－2】のとおり

平成28年度 白川・東白川地域公共交通活性化協議会決算書

収入額 5,700,003 円  
 支出額 5,651,968 円  
 差引額 48,035 円

【収入の部】

款	項	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B-A)	摘 要
1 負担金		6,300,000	5,700,000	△ 600,000	
	1 負担金	6,300,000	5,700,000	△ 600,000	町村負担金 白川町 4,477,180 東白川村 1,222,820
2 補助金		0	0	0	
	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金		0	0	0	
	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入		1	3	2	
	1 諸収入	1	3	2	預金利子等
収入合計		6,300,001	5,700,003	△ 599,998	

【支出の部】

款	項	予算額	流用額	予算現額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (A-B)	摘 要
1 運営費		1,300,000	0	1,300,000	659,968	640,032	
	1 会議費	1,194,000	0	1,194,000	644,254	549,746	委員及び対策監報償費 556,000 委員等費用弁償 60,280 会議開催費 27,974
	2 事務費	106,000	0	106,000	15,714	90,286	事務消耗品費 7,290 振込手数料 8,424
2 事業費		5,000,000	0	5,000,000	4,992,000	8,000	
	1 事業費	5,000,000		5,000,000	4,992,000	8,000	公共交通計画策定支援委託料 4,992,000
3 予備費		1,000	0	1,000	0	1,000	
	1 予備費	1,000	0	1,000	0	1,000	
支出合計		6,301,000	0	6,301,000	5,651,968	649,032	

平成28年度白川町・東白川村地域公共交通活性化協議会の決算について、諸帳簿及び証拠書類の対照調査を実施した結果、いずれも適正に執行され、上記のとおり決算額に誤りはないものと認める。

平成29年 6月 6日

白川町・東白川村地域公共交通活性化協議会

監 事 白川町会計管理者

安江文郎 

監 事 東白川村会計管理者

今井英樹 

## 住民アンケート結果の状況

### 1.住民アンケートのまとめ

施策立案の検討・実施の基礎資料とするため、アンケート全体について地区別、年代別に集計・分析した結果を整理した。また、主な利用者層（ターゲット）である高校生や高齢者（免許非保有者）の特徴について地区別に整理した。

①公共交通の利便性が低い（とされている）ため、主な移動手段となっていない

- ・「公共交通は利用しづらい」が7割弱（Q11-2）

→理由として「利用したい時間帯にバスや鉄道がない」「行きたい場所にバスや鉄道が行かない」の他、白川北、蘇原地区では「バス停が遠い」との回答もみられる（Q11-3）。改善点の優先度は、上記三つに加え「運賃が高い」が挙がっている

- ・「自家用車・バイク（自分で運転）」が7割弱、送迎・同乗を含めると、9割弱が自家用車を利用（Q4-5）

- ・ただし、10代（高校生）についてはJRや路線バス、高齢者（特に70代後半以上）は福祉支援バスや路線バス等が移動手段となっている（Q4-5）

→高校生は、土日も部活等でJRを利用している（Q4-5）ため、路線バス土日運休の影響を受けている

→バスと鉄道の乗り継ぎで重要なこととして「待ち時間が短い」との回答が多数を占めた（Q11-6）

→主な路線バス利用者（母数が少ないため要注意）の要望として、10代（高校生）は「本数が増える」「終バスが遅くなる」が挙がっている（Q11-4）

②住民の公共交通への関心が低い

- ・路線バスへの満足度「どちらでもない」が7割強（Q11-1）

- ・路線バスの「ダイヤ」「運賃」「行ける場所」の認知度が15%以下（Q7-3）

→自家用車をやめることができない理由（Q5-2）、路線バスを利用しない理由（Q8-2）として、「目的地に行けない」との回答に繋がっている可能性あり

- ・助成制度への認知度「知らない」が約35%（Q12-1）

→助成制度を知らないまま転出している層が存在する可能性あり

⇒まずは、主な利用者層である高校生と高齢者（免許非保有者）にターゲットを絞り、この層の利用率を高めるための路線、ダイヤ、運賃体系、運行形態を検討していく

- ・引き続き、地域公共交通の必要性についての町民全体への啓発活動を続けるとともに、バスの行先や乗り方を分かり易く説明したパンフレットやバスマップなどで、行きたい場所に行けることを伝えていく。子育て層に対しても、様々な機会を通じ、制度の趣旨や内容を伝えていく

## 2.高校生・高齢者（免許非保有者）の特徴

主なターゲットである、高校生・高齢者（免許非保有者）の特徴を地区別に整理した。

### 【白川地区】

#### ①高校生

- JRで通学。多くは6時台に家を出て、白川口駅まで親に送ってもらう。
- 帰宅はおおむね19時台だが、18時台になることもある。
- 路線バスはほとんど利用しない。

#### ②高齢者（免許非保有者）

- 普段のお出かけは、通院（白川病院）と買物（町内（マツオカ、Vドラッグ等））
- 週に2～3日、9時台に家を出て、15時台に帰宅。午前中に帰宅する時もある。
- 外出は、車（送迎か同乗）、福祉バスも利用する。
- 鉄道はあまり利用しないが、使うなら白川口駅。
- 路線バスもほとんど利用しない。もっと本数が増えればいいと思っている。
- 通院は、病院バスを利用することが多い。
- タクシーを利用する人もいる。

### 【白川北地区】

#### ①高校生

- JRで通学。多くは6時台に家を出て、白川口駅や下油井駅まで親に送ってもらう。
- 帰宅は概ね19時台。
- 路線バスはほとんど利用しない。

#### ②高齢者（免許非保有者）

- 普段のお出かけは、通院（白川病院、金山病院）と買物。金山への外出も多い。
- 週に2日、9時台に家を出て、16時台に帰宅。午前中に帰宅する時もある。
- 外出は、車（送迎か同乗）、福祉バスも利用する。
- 鉄道はほとんど利用しないが、使うなら下油井駅か白川口駅。
- 路線バスもほとんど利用しない。利用したい時間帯に目的地に行きたいと思っている。
- 病院バスはあまり利用しない。
- タクシーを利用する人もいる。

## 【蘇原地区】

### ①高校生

- ・路線バス、JRで通学。多くは6時台に家を出て、バス停まで歩くか、白川口駅まで親に送ってもらう。
- ・帰宅は概ね19時台。
- ・路線バスの利用者もいる。もっと終バスが遅くなるといいと思っている。

### ②高齢者（免許非保有者）

- ・普段のお出かけは、通院（白川病院）と買物（町内（マツオカ等））。
- ・週に2日、8時台に家を出て、16時台に帰宅。午前中に帰宅する場合も多い。
- ・外出は、車（送迎か同乗）、病院バス、福祉バスも利用する。
- ・鉄道はほとんど利用しないが、使うなら白川口駅が多い。
- ・路線バスもほとんど利用しない。本数が増えるといいと思っている。
- ・病院バスもよく利用する。
- ・タクシーを利用する人もいる

## 【黒川地区】

### ①高校生

- ・路線バス、JRで通学。6時台に家を出て、バス停まで歩くか、親に送ってもらう。
- ・帰宅は概ね19時台。
- ・路線バスはよく利用している。本数が増えたり、もっと終バスが遅くなるといいと思っている。

### ②高齢者（免許非保有者）

- ・普段のお出かけは、通院（白川病院、安江病院）と買物（町内（マツオカ、コメリ等））。
- ・週に2日、8時台に家を出て、16時台に帰宅。午前中に帰宅する場合もある。
- ・外出は、車（送迎か同乗）、病院バス、福祉バスも利用する。
- ・鉄道はほとんど利用しないが、使うなら白川口駅が多い。
- ・路線バスもたまに利用する。利用したい時間帯のバスがあるといいと思っている。
- ・病院バスもたまに利用する。
- ・タクシーを利用する人はいない

## 【佐見地区】

### ①高校生

- JRで通学。6時台に家を出て、下油井駅や美乃坂本駅まで親に送ってもらう。
- 帰宅は概ね17時台。
- 路線バスはほとんど利用しない。

### ②高齢者（免許非保有者）

- 普段のお出かけは、通院（白川病院、阿部病院）と買物。金山への外出も多い。
- 週に2日、8時台に家を出て、16時台に帰宅。午前中に帰宅する場合も多い。
- 外出は、車（送迎か同乗）、路線バスも利用する。
- 鉄道はあまり利用しないが、使うなら下油井駅が多い。白川口駅も利用する。
- 路線バスはたまに利用する。本数が増えるといいと思っている。
- 病院バスも利用する。
- タクシーはほとんど利用しない。

## 【東白川地区】

### ①高校生

- JRで通学。多くは6時台に家を出て、白川口駅まで路線バスを利用する。親に送ってもらう人もいる。
- 帰宅は概ね19時台。
- 路線バスは利用する。本数が増えたり、利用したい時間帯に利用できるといいと思っている。

### ②高齢者（免許非保有者）

- 普段のお出かけは、買物や通院（白川病院、東白川診療所等）。福祉センターが多い。
- 週に2～3日、8～10時台に家を出て、午前中に帰宅。16時台に帰宅する場合も。
- 外出は、車（送迎か同乗）、福祉バスの利用も多い。
- 鉄道はほとんど利用しないが、使うなら白川口駅。
- 路線バスも、あまり利用しない。
- 病院バスはどちらかというと利用しない。
- タクシーはほとんど利用しない。